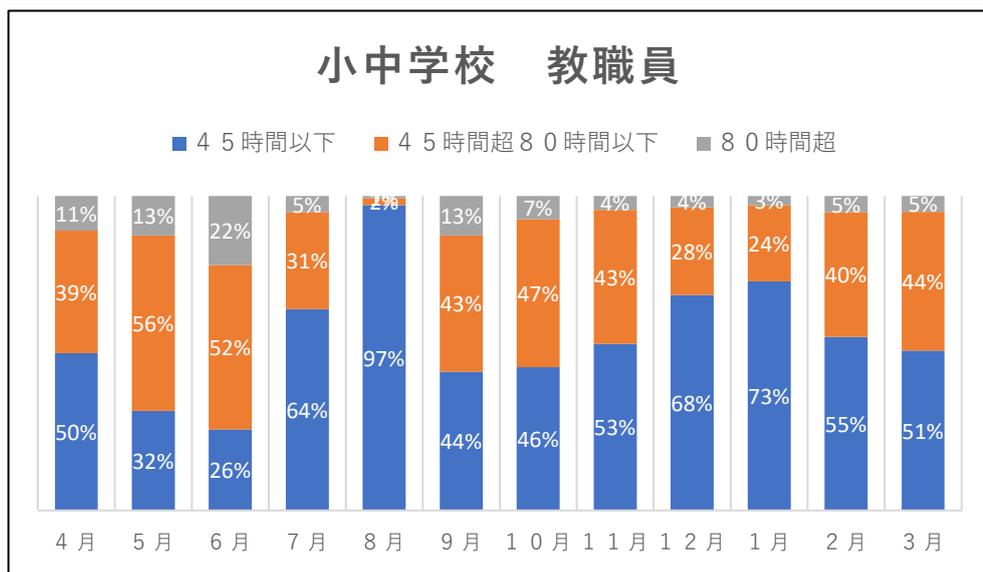


令和4年度 那須町公立小中学校教職員 時間外在校等時間

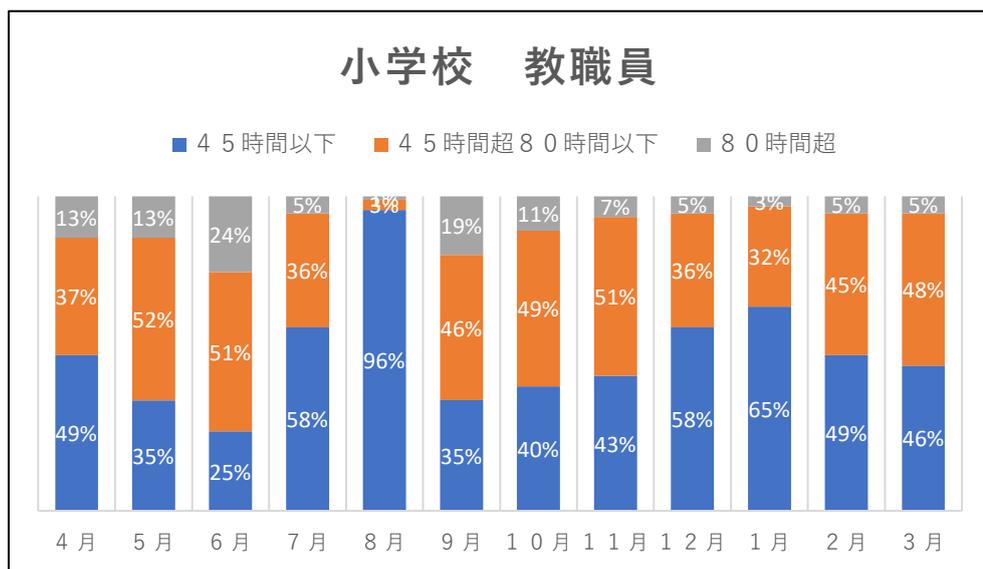
○小中学校 教職員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
45時間以下	50%	32%	26%	64%	97%	44%	46%	53%	68%	73%	55%	51%
45時間超80時間以下	39%	56%	52%	31%	2%	43%	47%	43%	28%	24%	40%	44%
80時間超	11%	13%	22%	5%	1%	13%	7%	4%	4%	3%	5%	5%



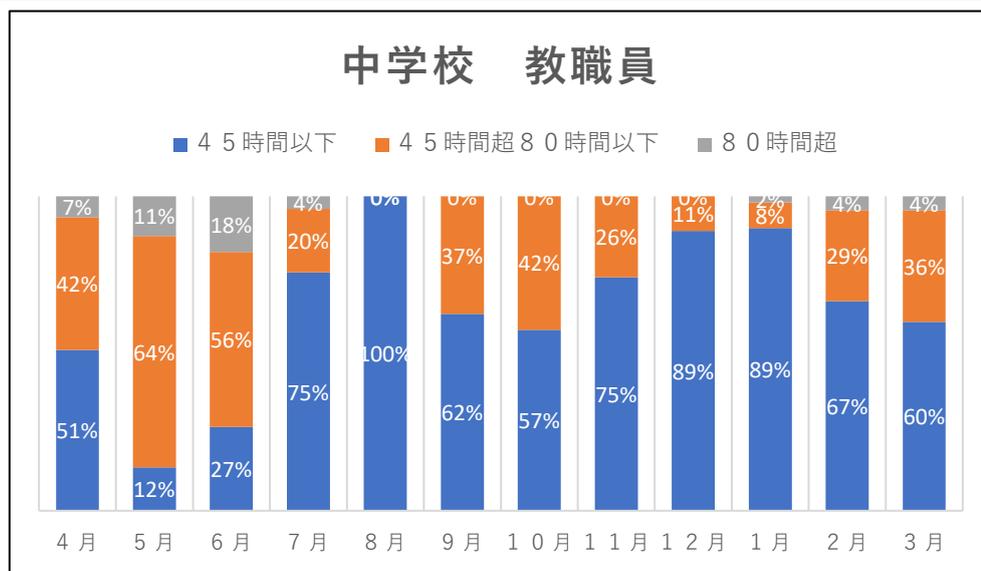
○小学校 教職員

小学校教職員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
45時間以下	49%	35%	25%	58%	96%	35%	40%	43%	58%	65%	49%	46%
45時間超80時間以下	37%	52%	51%	36%	3%	46%	49%	51%	36%	32%	45%	48%
80時間超	13%	13%	24%	5%	1%	19%	11%	7%	5%	3%	5%	5%



○中学校 教職員

中学校教職員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4 5 時間以下	51%	12%	27%	75%	100%	62%	57%	75%	89%	89%	67%	60%
4 5 時間超 8 0 時間以下	42%	64%	56%	20%	0%	37%	42%	26%	11%	8%	29%	36%
8 0 時間超	7%	11%	18%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	4%	4%



《考察》

令和4年度、1か月あたりの時間外在校等時間が4.5時間を超える割合は、全体で年間平均約45.1%である。

校種別で見ると、小学校では約49.7%、中学校では約35%となっており、小学校の方が割合が高く、約2人に1人は4.5時間以上であるということが見えてきた。

さらに、1か月あたりの時間外在校等時間が8.0時間を超える教職員の割合は、全体で年間平均で約7.8%となっており、小中学校別で見ると、小学校が約9.3%、中学校が約4.2%となっており、こちらも小学校の方が割合が高いことが分かった。

小中学校ともに、8.0時間を超える教職員が最も多い月は6月となっており、日々の授業に加え、学校行事や部活動などが盛んになる季節に勤務時間が集中してしまう傾向にあると推測する。

昨年度、9月に那須町学校における働き方推進プランを策定し、取組の方向性について各学校に周知してきた。今後も、教職員が心身ともに健康で、本来的な業務をいきいきと取り組むことができることを目指し、時間外在外等時間については注視していきたい。